認ともうるまの活動紹介

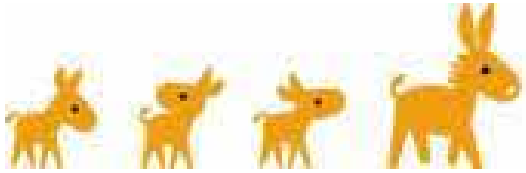
設立経緯：　これまで、専門職中心の認知症勉強会を幾つか運営した経験から・・・

☆専門職だけでは認知症になっても安心して暮せるまちは作れないこと

☆多くの関係機関、市民の力が必要なこと

☆認知症になっても安心して暮せるまちの本質は、認知症と伴に生きる人が一番わかっている事

この3つの柱を基本に、活動をすれば認知症になっても安心して暮せるうるま市が作れるのではないか



認ともうるまの活動紹介

設立日時：　平成29年6月1日

会の目的：（１）認知症の当事者、家族、各種専門職や関係機関、一般市民が定期的に研修会や意見交換を行い、認知症になっても安心して暮らせるうるま市(認知症にやさしいまちは全ての人にやさしいまち)の実現に努める。

（２）行政や各種機関、団体、当事者、家族等と認知症になっても安心して暮らせるうるま市を実現する為の意見交換や社会活動を協働して行う

認ともうるまの活動紹介

会　員：認知症と共に生きる人、家族、その他、当会の趣旨に賛同する人
現在１８名の実行委員で運営。

会の活動内容：（１）２ヶ月に１回の定期研修会、意見交換及び臨時会の開催
（２）月に１回の本人と家族のカフェ（ユンタク会）

（３）行政や各種機関、団体等との意見交換や働きかけ等を行う

会　費：研修会参加費　１００円／回
講師の交通費、会の運営協力費（案内チラシ作成等）に使用